

発生動向の概況

夏の感染症は、流行のピークを過ぎました。ヘルパンギーナ（夏かぜの一種）の流行は、第 27 週（定点当たり 5.7 人）をピークに減少に転じました。第 30 週の定点当たり報告数は 3.0 人となり、ピーク時に比べ半減しましたが、依然として患者数の多い状況です。手足口病は、第 20 週（定点当たり 10.2 人）をピークに減少傾向が続き、第 30 週の定点当たり報告数は 2.0 人と終息に向かっています。この疾患はほとんどの場合、軽症で予後も良好ですが、まれに髄膜炎などの合併症を起こすこともありますので、高熱、頭痛、嘔吐などの症状がある場合は、早く医療機関を受診してください。両疾患とも、原因ウイルスは症状が無くなった後も 1 ヶ月程度は糞便中に排泄されますので、石けんを使用した手洗い（特に、食前、排便後やおむつ交換後）を励行し、タオルやコップの共用は避けるなど、感染予防対策を励行してください。咽頭結膜熱（プール熱）は、例年では流行する時期ですが、今のところ県内各地で散発程度の発生です。

感染性胃腸炎は、四国中央地区と中予でやや多く見られますが、例年通りの推移で減少しています。病原体は 6 月以降、下痢原性大腸菌やカンピロバクターなどの細菌性の割合が増加しています。高温・多湿の気候で、細菌の増えやすい時期です。適切な食品の取り扱いと石けんを使用した手洗いを心がけてください。

その他の疾患では、第 30 週に日本紅斑熱の届出がありました。この疾患は、病原体（日本紅斑熱リケッチア）を保有するマダニ類に刺されることで感染し、ヒトからヒトへの感染はありません。県内では、例年マダニ類の活動時期にあたる 4 月から 10 月にかけて届出が増加します。野山や畑、草むらなどマダニ類の生息場所に出かける際は、なるべく肌を露出せず、肌が出る部分にはダニ忌避剤を活用するなどして、マダニ類に刺されないよう注意してください。抗生物質の投薬により予後は比較的良好ですが、治療が遅れると重症化し経過も長くなりますので、早期に適切な治療を受けることが重要です。野外で活動した 2 日から 8 日後に発熱や発しんなどの症状が出た場合は、早めに医療機関を受診し、感染の可能性があることをお伝えください。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症（結核は除く）

- 四類感染症 : 日本紅斑熱 1 例
レジオネラ症 2 例（疑い例）
- 五類感染症 : ウイルス性肝炎 1 例（C 型）

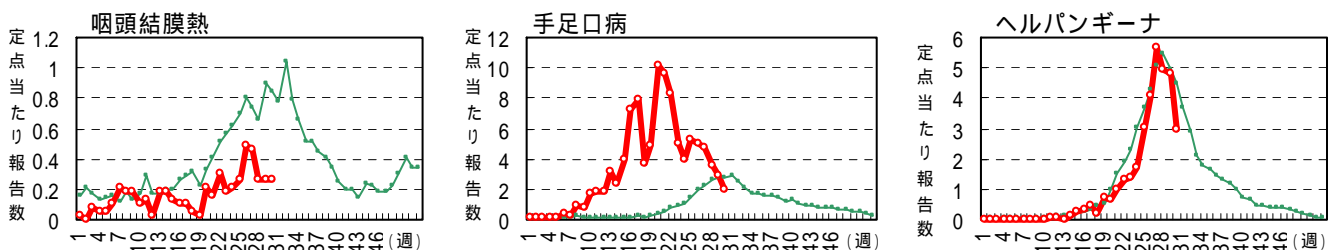
定点把握感染症（数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載）

	愛媛県推移	県内の傾向
咽頭結膜熱	→ 0.3	県内各地で散発。例年の同時期に比べ発生レベルの低い状況で推移。
感染性胃腸炎	→ 3.2	県内全域で減少傾向。四国中央地区と中予でやや多い。
水痘	→ 1.3	県内全域で散発しているが、例年通りの推移で減少。
手足口病	→ 2.0	県内全域で減少傾向が続く。宇和島地区でやや多い。
ヘルパンギーナ	→ 3.0	県内全域で流行しているが、第 27 週をピークに減少傾向。
流行性耳下腺炎	→ 0.6	増減を繰り返しながら県内各地で散発。四国中央地区と今治地区でやや多い。

解析評価委員のコメントから

- 咽頭結膜熱：西条市、今治市で少し見られます。結膜炎のないものもあります。（東予）
多くはありませんが、引き続き見られます。胃腸症状を伴う方も少なくありません。（中予）
- 感染性胃腸炎：多くはないですが、細菌性も見られます。（東予）
- 水痘：引き続き見られます。伝染性膿疱を併発する例が多く見られます。（中予）
- ヘルパンギーナ：まだ流行していますが、減少してきています。（東予）
減ってきましたが、まだ見られます。（中予）
高熱が出る夏風邪の中でもヘルパンギーナが目立ちます。（南予）

過去 30 週の動向（：過去 30 週の動向、：過去 10 年の平均）



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

病原体検出情報

平成 22 年 8 月 4 日現在

ブタの日本脳炎ウイルス抗体保有調査では、7月5日、13日、26日に採血し抗体価を測定しましたが、日本脳炎ウイルス抗体陽性のブタはいませんでした（右表参照）。

6月中旬に採取された手足口病患者1名からエンテロウイルス71型、6月下旬に採取された不明熱患者からアデノウイルス2型、第27週に手足口病・無菌性髄膜炎患者1名の髄液からムンプスウイルスが分離されています。また、7月上旬に採取された流行性耳下腺炎患者3名からムンプス様ウイルス、6月下旬から7月上旬の間に採取された下気道炎及び不明熱患者計3名からエンテロ様ウイルスが分離され現在同定中です。

感染性胃腸炎では、7月19日から31日までに採取された18検体から、下痢原性大腸菌、アデノウイルス、サポウイルスが各2例検出されています。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

HI抗体：ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。
2ME感受性抗体：最近感染したかどうかわかります。

採血月日	検査頭数	HI抗体陽性数 ¹⁾	2ME感受性抗体	
			検査件数 ²⁾	陽性数
7月 5日	10	0	-	-
7月 13日	10	0	-	-
7月 26日	10	0	-	-

1) HI抗体価は1:10以上を陽性としました。

2) 2ME感受性抗体は、HI抗体価が1:40以上であった検体について検査しました。

過去5週 検出病原体

(6月28日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検 体	例数
26	6/28~7/4	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1
				カンピロバクター	糞 便	1
27	7/5~7/11	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1
				カンピロバクター	糞 便	1
28	7/12~7/18	松山市	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	髄 液	1
				ムンプス	髄 液	1
				下痢原性大腸菌	糞 便	6
				カンピロバクター	糞 便	1
				サポ	糞 便	1
29	7/19~7/25	松山市	感染性胃腸炎	アデノ	糞 便	1
				下痢原性大腸菌、アデノ	糞 便	1
				サポ	糞 便	1
30	7/26~8/1	松山市	感染性胃腸炎	アデノ	糞 便	1
				下痢原性大腸菌	糞 便	1
				サポ	糞 便	1

月別病原体検出結果

臨床診断別検出結果

(2010年5月以降採取検体)

検出病原体	検体採取月							合計
	2010							
	2	3	4	5	6	7		
ウ イ ル ス	コクサッキー A16	1						1
	コクサッキー B4				1			1
	エンテロ 71		7	5	5	1		18
	新型インフルエンザ	17						17
	RS	8	2	2				12
	ムンプス	1		5	1		1	8
	ロタ	1	3	23	11	1		39
	アストロ					1		1
	ノロ	19	13	4	5	1		42
	サポ		3	7	2	6	3	21
	アデノ	4	4	3		1	3	15
	アデノ 2	2		1		1		4
	アデノ 5	2	1					3
アデノ 6			1				1	
ウイルス計	55	33	51	25	12	7	183	
細 菌	下痢原性大腸菌			1	5	5	9	20
	カンピロバクター				2	1	2	5
細菌計			1	7	6	11	25	

検出病原体	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	流 行 性 耳 下 腺 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	下 気 道 炎	不 明 熱	発 疹 症 ・ 不 明 発 疹 症	合 計
コクサッキー B4					1			1
エンテロ 71		3				1	2	6
ムンプス			1	1				2
ロタ	12							12
アストロ	1							1
ノロ	6							6
サポ	11							11
アデノ	4							4
アデノ 2						1		1
ウイルス計	34	3	1	1	1	2	2	44
下痢原性大腸菌	19							19
カンピロバクター	5							5
細菌計	24							24

愛媛県 定点把握五類感染症 2010年 第 30 週 (2010.7.26 ~ 8.1)

	患者報告数	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		1) インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	3) マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎
保健所別	四国中央	1				15	1	7		1	5	4	-	-			1		四国中央	
	西条		3	1	21	11	11		10		19	1		3					西条	
	今治			1	4	4	4		4		16	10		1					今治	
	松山市			6	5	67	24	21	1	14		41	3		5	-	-	-	-	松山市
保健所別	松山			4	9	1	8	1	8		9	1		1					松山	
	八幡浜					1	9		6		16	2		1			3		八幡浜	
週推移	宇和島		1		3	7	15		2		5	1							宇和島	
	愛媛県	1		10	11	119	49	75	2	45	111	22		11			4		愛媛県	
	1週前	1		10	11	121	77	107	5	39	1	178	27			1	2		1週前	
	2週前		1	10	21	182	57	134	4	36		184	27			1	2		2週前	
	3週前			17	28	178	86	175	10	28		211	28				2		3週前	
年齢別	0-5ヶ月	1			3	1			1		2								0	
	6-11ヶ月			1	19	4	1		20		10							2	1-4	
	1			2	11	7	13		21		25	3						1	5-9	
	2			1	1	21	9	14	1	3		21	4					1	10-14	
	3			4	3	18	11	8				17	1						15-19	
	4				2	10	9	4				11	7		2				20-24	
	5			1	3	12	2	16	1			13	1		2				25-29	
	6					4	3	8				7	3						30-34	
	7					4	1	6				1							35-39	
	8					3		1				1	1						40-44	
	9			1		2	1	1				1	1						45-49	
	10-14			1	1	10	1	3				2	1		1				50-54	
	15-19					2									1					55-59
	20-29 ⁴⁾														1					60-64
	30-39																			65-69
40-49													4					70-		
50-59																				
60-69																				
70-79 ⁵⁾																				
80-																				

年齢別（基幹定点疾患）

定点当たり報告数																				
		1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)
保健所別	四国中央	.1	.5	.2	5.0	.3	2.3	.3		1.7	1.3	-	-			1.0			四国中央	
	西条			.2	3.5	1.8	1.8	1.7		3.2	.2		3.0						西条	
	今治			.2	.8	.8	.8	.8		3.2	2.0		1.0						今治	
	松山市		.5	.5	6.1	2.2	1.9	.1	1.3		3.7	.3	1.7	-	-	-	-		松山市	
保健所別	松山		1.0	2.3	.3	2.0	.3	2.0		2.3	.3	1.0							松山	
	八幡浜				.3	2.3		1.5		4.0	.5	1.0				3.0			八幡浜	
保健所別	宇和島		.3	.8	1.8	3.8	.5	1.3	.3	1.3	.3								宇和島	
	愛媛県	.0	.3	.3	3.2	1.3	2.0	.1	1.2	3.0	.6	1.4				.7			愛媛県	

1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数									
定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島	
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は8月4日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2010年 第 29 週 (2010.7.19 ~ 7.25)

	患者報告数	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		1) インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	3) マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎
保健所別	四国中央	1				11	4	24		1	1	7	4	-	-					四国中央
	西条			1	22	10	12	1	9			27	3		1					西条
	今治			2	3	4	4	2	8			34	12		2			1		今治
	松山市			8	3	74	33	27	1	14		56	2		6	-	-	-	-	松山市
	松山				5	6	5	9		5		19								松山
週推移	八幡浜			1	5	7	14	1	2		20	6		2			1		八幡浜	
	宇和島			1		14	17				15					1			宇和島	
	愛媛県	1		10	11	121	77	107	5	39	1	178	27		11		1	2	愛媛県	
	1週前		1	10	21	182	57	134	4	36		184	27		9		1	2	1週前	
	2週前			17	28	178	86	175	10	28		211	28		14			2	2週前	
3週前		4	18	20	177	72	183	3	30		152	23		10			8	3週前		
年齢別	0-5ヶ月	1				1	1	1		1									0	
	6-11ヶ月					16	3	4		24		17							1-4	
	1			3		16	21	24		13		56	2				1		5-9	
	2			1		14	18	17		1		30	7					2	10-14	
	3			2	2	15	11	20				25	3						15-19	
	4			1	1	13	11	11	2			20	5		1				20-24	
	5			2	6	10	10	17				17	2						25-29	
	6			1		10		7	2			5	2						30-34	
	7					9		3	1			3							35-39	
	8				1	3	2					3							40-44	
	9					4														45-49
	10-14				1	8		3				1	4		1					50-54
	15-19														1					55-59
	20-29 ⁴⁾					2						1	1		1					60-64
	30-39														3					65-69
	40-49														2					70-
	50-59														2					
60-69																				
70-79 ⁵⁾																				
80-																				

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	.1			3.7	1.3	8.0		.3	.3	2.3	1.3	-	-					四国中央
	西条			.4	3.7	1.7	2.0	.2	1.5		4.5	.5		1.0					西条
	今治			.7	.6	.8	.8	.4	1.6		6.8	2.4		2.0			1.0		今治
	松山市			.7	.3	6.7	3.0	2.5	.1	1.3		5.1	.2		2.0	-	-	-	松山市
	松山				1.3	1.5	1.3	2.3		1.3		4.8							松山
愛媛県	八幡浜			.3	1.3	1.8	3.5	.3	.5		5.0	1.5		2.0			1.0		八幡浜
	宇和島			.3		3.5	4.3				3.8					1.0			宇和島
愛媛県	.0		.3	.3	3.3	2.1	2.9	.1	1.1	.0	4.8	.7		1.4		.2	.3		愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザを除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は7月28日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症（月報） 2010年7月

患者報告数		STD定点									基幹定点							
		性器クラミジア感			性器ヘルペス			尖圭コンジローマ			淋菌感染症				ドキシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	
		総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性					
保健所別	四国中央	2	2				2	2				4				四国中央		
	西条															西条		
	今治	11	11		3	3	1	1		7	7					今治		
	松山市	5	1	4						3	3	-	-	-		松山市		
保健所別	松山									1	1	2				松山		
	八幡浜				2	2										八幡浜		
保健所別	宇和島	1	1							1	1	3				宇和島		
	愛媛県	19	15	4	5	5	3	3		12	12	9				愛媛県		
月推移	1月前	13	11	2	6	3	3	5	1	4	8	7	1	15			1月前	
	2月前	15	12	3	5	3	2	5	4	1	5	4	1	13			2月前	
	3月前	10	6	4	6	5	1				3	3		9			3月前	
	0													1			0	
年齢別	1-4													1			1-4	
	5-9																5-9	
	10-14																10-14	
	15-19	1		1													15-19	
	20-24	3	3				1	1		4	4						20-24	
	25-29	8	6	2			1	1		1	1						25-29	
	30-34						1	1		2	2						30-34	
	35-39	2	2							2	2						35-39	
	40-44	1	1		1	1				1	1						40-44	
	45-49	2	1	1	1	1				1	1						45-49	
	50-54	1	1							1	1						50-54	
	55-59																	55-59
	60-64				2	2												60-64
	65-69	1	1															65-69
	70-				1	1								7				70-

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	2.0	2.0				2.0	2.0				4.0				四国中央	
	西条																西条
	今治	11.0	11.0		3.0	3.0	1.0	1.0		7.0	7.0						今治
	松山市	1.3	.3	1.0						.8	.8	-	-	-			松山市
保健所別	松山										1.0	1.0	2.0				松山
	八幡浜				2.0	2.0											八幡浜
保健所別	宇和島	1.0	1.0								1.0	1.0	3.0				宇和島
	愛媛県	1.7	1.4	.4	.5	.5	.3	.3		1.1	1.1	1.5					愛媛県

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
S T D 定 点	11	1	2	1	4	1	1	1
基 幹 定 点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は8月4日集計分であり、その後の報告は翌月以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第28、29週 (2010.7.12 ~ 7.25)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	
28週	愛媛県	.0	.3	.6	4.9	1.5	3.6	.1	1.0		5.0	.7		1.1		.2	.3		
	近畿県	香川県	.0	.2	.6	4.3	1.6	5.5		.7		4.8	1.6		.3		.2	.4	
		徳島県	.0		.2	.4	4.4	.5	2.3	.0	.6		7.0	.9		.3		.2	
		高知県			.1	1.3	2.9	1.2	13.3	.4	.5	.0	2.1	.1				.6	.3
	全 国	.0	.0	.4	1.1	3.5	1.2	3.9	.6	.7	.1	6.5	1.4	.0	.7	.0	.1	.3	.0
	北海道		.2	.3	2.1	1.8	1.1	2.1	.2	.5	.0	5.3	1.8		.4			.3	
	東北	.0	.1	.4	.9	2.8	1.3	3.6	.6	.6	.0	8.1	1.2	.0	.3		.0	.7	.0
	関東	.0	.0	.3	1.2	3.3	1.3	3.8	.8	.7	.1	9.1	1.5	.1	.8	.0	.1	.4	.1
	甲信越北陸	.0	.0	.6	1.4	3.3	1.5	5.4	.7	.6	.1	7.2	1.6	.0	.4		.0	.1	.1
	東海	.0	.0	.2	.8	3.4	1.0	4.2	.5	.6	.0	8.2	1.0	.0	.4	.1	.2	.3	.0
近畿	.0	.0	.4	.8	3.6	1.3	4.5	.4	.6	.1	4.6	1.5	.0	.5	.0	.1	.2		
中国四国	.0	.0	.3	1.0	4.4	1.2	4.3	.1	.6	.0	4.0	1.4		.7		.0	.3	.0	
九州沖縄	.1	.1	.4	.8	4.6	1.2	3.2	.8	.9	.1	3.1	1.6	.0	1.9	.0	.0	.3	.0	

(7.21集計)

29週	愛媛県	.0		.3	.3	3.3	2.1	2.9	.1	1.1	.0	4.8	.7		1.4		.2	.3		
	近畿県	香川県	.1	.1	.1	.6	3.8	1.0	3.5	.0	.9		3.9	2.0						
		徳島県	.0		.2	.6	3.3	1.2	3.7		.6		4.8	1.1		.2	.2	.4		
		高知県			.3	1.1	1.7	1.3	9.4	.5	.4	.1	1.8	.2		1.3		.4		.1
	全 国	.0	.1	.3	.7	2.7	1.0	3.5	.4	.6	.0	5.0	1.3	.0	.7	.0	.1	.4	.0	
	北海道	.0	.2	.2	1.4	1.3	1.1	2.0	.1	.4	.0	4.4	1.5		.6			.4		
	東北	.0	.0	.3	.7	2.0	.8	3.3	.6	.6	.0	7.4	1.0		.6		.0	.7		
	関東	.0	.0	.3	.7	2.4	1.0	3.3	.6	.6	.1	6.4	1.4	.0	.7	.0	.1	.4	.0	
	甲信越北陸	.0	.0	.5	1.0	2.8	1.1	5.9	.4	.5	.0	6.8	1.3		.3			.2	.1	
	東海	.0	.0	.2	.5	2.9	1.1	3.7	.4	.7	.0	6.2	.8		.4		.1	.3		
近畿	.0	.1	.2	.7	2.8	1.2	3.9	.3	.5	.0	3.5	1.4	.0	.3	.0	.2	.2			
中国四国	.0	.0	.3	.9	3.3	1.1	3.2	.1	.6	.0	3.3	1.4		.8	.0	.2	.3	.0		
九州沖縄	.1	.1	.4	.7	3.6	.9	3.0	.6	.8	.1	2.4	1.4		1.7		.1	.4	.0		

(7.28集計)

1) 鳥インフルエンザは除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。

